

# 第三章

## 草創期

明治二十二年～同二十六年



# 第一節 明治二十二年

## 第一二五號

本校明治二十二年々報別冊之通編纂候条進達候也

明治廿三年十一月八日

東京美術學校校長 岡倉覺三

文部大臣 芳川顯正殿

東京美術學校第老年報 明治廿二年分

明治廿年十月文部省東京美術學校ヲ創設シ爾來開校ノ準備ニ着手シ廿二年二月ニ至リ始メテ開校授業ヲ肇ムルヲ以テ該年報告ヲ第一年トシ自後毎年號ヲ逐テ進呈セントス

## 學規

本校規則ハ昨明治二十一年中制定スル所ニ係ル録シテ別冊ニ附ス本年七月十六日其中授業料及其他ノ費用第壹条ヲ左ノ如ク改正ス

授業料ハ一學年金拾圓トシ該金額ハ九月、十一月、二月、四月ノ初定日ニ於テ本校會計員ニ納ムヘシ

但修業年限中疾病其他已ムヲ得サル事故等ニ由リ退學スルアルモ既納ノ授業料ハ返付セサルモノトス

## 處務

本年一月十七日前年中募集セル生徒六十五人入學ヲ許ス 三十日生徒心得ヲ定ムル左ノ如シ

## 生徒心得

- 一 生徒ハ本校ノ規則告諭等ヲ遵守スヘキハ勿論各自其志操ヲ堅固ニシテ思想ヲ優美ニシ言行ヲ謹肅ニシ校ノ内外ヲ問ハス苟モ本校生徒タルノ躰面ヲ汚ス舉動アルヘカラサル事
- 一 生徒ハ總テ教師ノ指導ニ從ヒ勤勉スヘキ事
- 一 授業時間ニ至レハ遲滞ナク教室ニ入り各自ノ席ニ着クヘキ事
- 一 教室ニ入ル片ハ帽子外套等ヲ脱スヘキ事
- 一 生徒ハ授業時間中教師ノ許可ナクシテ教室外ニ出ルヲ得サル事
- 一 授業時間外ニ教室ニ入り又ハ教室備付ノ物品ヲ携出スヘカラサル事
- 一 本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ニ敬礼ヲ重ンスヘキ事
- 一 校舎ノ整肅清潔ヲ旨トシ總テ喧擾汚穢ノ舉動アルヘカラサル事
- 一 生徒在學中ハ其製作物ヲ私ニ内外ノ展覽會等へ出品スヘカラス又鄙猥ノ製作ヲ為スヘカラサル事
- 一 本校ヨリ貸付シタル物品ハ殊ニ取扱方ニ注意スヘシ若シ其物品ヲ汚損シ又ハ紛失シタルトキハ修補セシメ又ハ同品ヲ以テ辨償セシムヘキ事
- 一 校内ニアリテハ扣所ノ外ニ於テ飲食喫烟スヘカラサル事
- 一 傘履等ハ一定ノ場所ニ収メ置キ校舎ヲ汚スヘカラサル事
- 一 授業料ハ本校所定ノ納日ニ必ス本校會計員ニ納付スヘシ若シ期日ニ至リ未納アルキハ停學ヲ命シ保證人ヨリ徴収スヘキ事

二月一日開校授業ヲ始ム 八日生徒教導上紀律ヲ格守セシメンカ為

メ服帽ノ制ヲ定メ且教員職員モ申合せ一様ノ服帽ヲ着用スルニ定ム

十一日紀元節並ニ憲法發布式ニ付キ教員職員及生徒等一同宮城正

門外ニ整列シ 兩陛下ノ御通覽ヲ拝シ祝賀ヲ奉ス

三月十九日雇高村幸吉同結城正明ニ學術研究ノ為メ往復滞在共一週

日ヲ以テ奈良出張ヲ命ス

四月三十日生徒ノ活力検査ヲ施行ス

五月二十五日生徒活力検査成績表並ニ本年一月生徒入學ノ際施行セ

シ体格検査成績表等ヲ上申ス

七月六日生徒證ヲ定メ旅行等ノトキ携帯セシム其式左ノ如シ

生徒證

何府縣華土族平民

何某

右者本校生徒ニ有之候也

年 月 日 校印 東京美術學校

豎五寸五分

横四寸

七月三十日樞密顧問官子爵佐野常民内閣官報局長高橋健三從五位河

瀬秀治松尾儀助ノ四名本校商議委員ヲ囑托セラレ又高等師範學校教

諭高嶺秀夫モ本校商議委員ヲ命セラル

八月六日教諭橋本雅邦同川端玉章ニ學術研究ノ為メ往復滞在共一週

日ヲ以テ京都出張ヲ命ス

九月一日ヨリ五日ニ至ル第二回生徒ヲ募集シ七日ヨリ十日ニ至ル入

學試驗ヲ行ヒ十五日合格者六拾貳人ニ入學ヲ許シ之ヲ普通科第一年

生丙組トス

本年中處理シタル公文往復ノ數ハ合計百七拾二件ニシテ内文部省ニ

係ルモノ二十八件同省直轄學校ニ係ルモノ十六件他各省ニ係ルモノ

二十五件各府縣ニ係ルモノ百三件ナリ

職員

本年末本校現在職員ノ數ハ兼任校長事務取扱名雇外國教師兼幹事

々務取扱名教諭專任五名兼任名幹事一名雇教員本務四名兼務一

名書記專任名兼任名會計主任文部省名營繕掛文部省名雇事務員

四名囑托教員四名繪畫取調等囑托名通計貳拾六名ナリ又本校定額

ヨリ支給スル職員ノ給額ハ月俸銀貨五百円名年俸金三百五拾円名

名年俸金五百円四名年俸金千貳百円名月俸金三拾五円貳名月俸金

三拾円二名月俸金貳拾五円名月俸金貳拾円一名月俸金拾五円名

月俸金拾貳円名囑托報酬名年金百貳拾円名日給金三拾錢名

通計拾七名ナリ

本年一月十九日第老高等中學校教諭兼工科大学教授小島憲之ニ幾何

畫法等ノ講授ヲ囑托ス 二十二日高等師範學校教諭兼文部屬磯野徳

三郎ニ理化學ノ講授ヲ高等師範學校教諭千本福隆ニ數學ノ講授ヲ囑

託ス 二十三日文部省雇長尾楨太郎ニ本校兼勤ヲ命ス雇竹内兼五郎

月俸金貳拾円ノ処五円ヲ増給ス 二十五日文學博士黒川真頼本校教

諭ニ任セラレ奏任官三等ニ叙シ年俸金參百五拾円下賜セラレ雇橋本

雅邦本校教諭ニ任セラレ奏任官五等ニ叙シ年俸金五百円下賜セラ

ル 三月八日本校及東京盲啞學校雇狩野友信ニ本校雇ヲ命シ月俸金三拾

円ヲ給ス高等商業學校及本校雇結城正明ニ本校及東京盲啞學校雇  
命シ月俸本校ヨリ金拾五円盲啞學校ヨリ金拾円ヲ給ス 十二日東京  
府平民高村幸吉京都府平民中島末治ニ雇フ命シ高村幸吉ニ月俸金三  
拾五円中島末治ニ月俸金三拾円ヲ給ス 二十二日佐賀縣土族田口騏  
次郎ニ臨時雇フ命シ月俸金拾五円ヲ給ス 三十日文部屬安井一匡本  
校會計主任ニ命セラル

四月八日願ニ依リ加納光太郎ノ雇ヲ解ク 二十日博物館屬川寄千虎  
ニ教科用絵畫取調等ヲ向テケ年間嘱託シ報酬トシテ一ケ年金百貳拾  
円ヲ給ス 三十日東京府平民安藤為吉ニ雇フ命シ月俸金貳拾円ヲ給  
ス

七月十日願ニ依リ藤川恕夫ノ雇ヲ解ク 十二日雇川端玉章同高村幸  
吉本校教諭ニ任セラレ奏任官五等ニ叙シ年俸各金五百円下賜セラル  
十五日京都府平民巨勢小石ニ雇フ命シ月俸金三拾五円ヲ給ス雇狩  
野友信同竹内兼五郎ニ月俸各金五百円ヲ増給ス

八月十三日文部省會計局雇岸恒一ニ本校雇フ命シ月俸金拾円ヲ給ス  
九月十四日雇岸恒一ニ月俸金貳円ヲ増給ス  
十月十四日東京府土族糟屋正道ニ雇申付日給金三拾錢ヲ給ス 十六  
日田口騏次郎ノ臨時雇ヲ解ク

十一月二十七日高等商業學校教諭兼文部屬上原六四郎ニ理科數學ノ  
講授ヲ嘱託ス  
十二月二十一日文部屬兼本校書記今泉雄作本校教諭ニ兼任セラレ奏  
任官五等ニ叙シ年俸金貳百円下賜セラレ 兼本校書 雇巨勢小石本校教諭  
ニ任セラレ奏任官五等ニ叙シ年俸金五百円下賜セラル 二十四日幹  
事岡倉覺三ニ上級俸下賜セラル

明治廿二年末職員現在表

類別	勅任	奏任	判任	雇員	計
事務員	一	一			二
教員		一〇	〇	五	一五
合計	二	一一	三	一〇	二六

生徒

本年末現在生徒ノ數百拾七人皆自費ナリ其内第一回募集ニ係ル者六  
拾五人ニシテ内退學スル者三人第二回募集ニ係ル者六十二人ニシテ  
内退學スル者七人現存スルモノ通計百十七人ニシテ内府縣特選ニ係  
ル者二十五人ナリ  
三月十五日ヨリ四月十二日ニ至ル生徒四拾老人ノ臨時試験ヲ行ヒ技  
術優等者九人ヲ拔キ之ヲ普通科第一年生甲組トシ其餘ハ普通科第壹  
年生乙組トス  
七月一日ヨリ六日ニ至ル學期試験ヲ行フ

生徒府縣別並ニ族籍一覽表

府縣名	生徒	族籍			
		華族	士族	平民	其他
北海道廳	三				
東京府	二八	四	二	一	
京都府	三		一六	一	
兵庫縣	一		二	一	
長崎縣	一		一	一	
新潟縣	一			一	

合	鹿	宮	熊	佐	大	福	高	愛	山	廣	岡	島	島	富	石	福	山	岩	福	宮	長	岐	滋	静	愛	三	茨	千	群	埼
計	見	崎	本	賀	分	岡	知	媛	口	島	山	根	取	山	川	井	形	手	島	城	野	阜	賀	岡	知	重	城	葉	馬	玉
	島	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
一 一 七	二	一	一	二	一	五	一	一	四	二	三	二	二	三	五	二	三	一	二	三	六	二	一	六	二	六	五	二	二	
四																														
七 一	二	一	一	一	四	一		四	一	一	一	一	一	一	四	二	一	一	一	二	三	一	一	五	一	三	四		二	
四 二			一	一	一			一		一	二	一	二	二	二	一		二		一	一	三	一	一	三	一	二		一	

經費

本年一月ヨリ十二月ニ至ル本校ニ於テ出納セシ經費仕払高及諸收入等左記ノ如シ其出納細目ハ會計年度報告ニ詳舉ス

經費仕払高

一金壹萬九千六百四拾壹円四拾五錢八厘

諸收入高

一金貳千八拾九円九拾五錢壹厘

収入金ノ内仕払高

一金貳百參円參拾九錢五厘

書籍器械

本年中新ニ購入セシ圖書類ハ六卷二幅九拾壹冊十二枚ニシテ其價格ハ金百四拾円三拾九錢五厘ナリ又標本類ハ八百九拾五個ニシテ其代價ハ金百貳拾八円貳拾五錢ナリ又理學器械ハ九種ニシテ其代價金百五拾五円四拾六錢貳厘ナリ

解説

1 別冊規則

「東京美術学校規則」(112頁所載) 参照。

2 制服、制帽

制服、制帽の制定については

「自明治四十四年一月教務内規、諸規定書類掛教務」(明治四十四年一月廿五日

燒夫ニ付新調」の印が捺されている。)に次の記載がある。